



## 原発事故において明らかになった学術の課題

- ①事故原因の科学的解明の継続  
(現場調査、実験を含む)
- ②原発については、最悪の「事故」が起こりうるということを前提に、安全管理の考え方を多角的な視点から根本的に見直す
- ③安全管理の考え方の転換を踏まえ、原子力発電の展望と共に、我が国のエネルギー政策・原子力研究のあり方及び規制のための科学について議論する
- ④社会が信頼するに足る科学者の行動  
一科学的成果が確実に使用されるよう、科学者自身が責任をもって行動する
- ⑤科学者の議論の透明性を徹底して確保し、その到達点及びリスクについては国民にわかりやすい形で示す